

各 位

会 社 名 株式会社 ストライダーズ
代表者名 代表取締役社長 早川 良太郎
(JASDAQ・コード9816)
問合せ先 取締役管理本部長兼CFO 梅原 純
電 話 03-5777-1891

新株予約権行使に関する合意書の一部を変更する覚書締結の件

当社は、2020年1月31日付「株式会社アマガサが第三者割当により発行する新株予約権の一部引受に関するお知らせ」に記載のとおり、株式会社アマガサ（以下、「アマガサ社」という。）、マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社（以下、「マイルストーン社」という。）と、アマガサ社が発行する第1回新株予約権（2020年1月31日発行決議：以下、「本新株予約権」という。）の行使、保有および売却に関して締結した2020年1月31日付「新株予約権行使に関する合意書」（以下、「原契約」という。）につき、2020年3月5日付「新株予約権行使に関する合意書の一部を変更する覚書」を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

2020年1月31日付「株式会社アマガサが第三者割当により発行する新株予約権の一部引受に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は、本新株予約権の割当先であるマイルストーン社とともに、2020年1月31日付「新株予約権の行使に関する合意書」に基づき、アマガサ社がすべての取引金融機関との間で借入金の返済を2021年4月末まで猶予する旨の返済条件変更の合意書を締結することを条件に、マイルストーン社と合計で、2020年3月6日までにアマガサ社創業家である支配株主の持株数と同等の1,000,000株まで一度に行使することに合意しておりました。当社及び発行体であるアマガサ社が取引金融機関と協議を重ねたところ、借入金の返済を2021年4月末まで猶予する旨の返済条件変更の合意書を締結するには至りませんでした。しかし、取引金融機関との協議の結果、当社並びにマイルストーン社及びアマガサ社としては、先行して金額的にも調達額が3億円を超える本新株予約権1,150,000株を行使し、これによって得られた資金で、早期に業績改善の諸施策に着手することが、取引金融機関からの支援の確保につながり、アマガサ社の全株主、取引先、従業員他すべての利害関係者の利益につながると判断しました。また、この資金調達により金融機関からの信頼を得ることが可能となり、借入金の返済を数か月から半年程度猶予していただけることが見込まれます。アマガサ社としては、この調達資金により、POSレジ、動線分析システム、SNSを通じて顧客にコーディネート提案を配信する接客サービスシステムの導入を当初の想定よりも早期に進めていくことが可能となります。

このような状況を踏まえ、当社はマイルストーン社とともにアマガサ社と本日付で、「新株予約権の行使に関する合意書」の一部変更に関する覚書（以下「本覚書」といいます。）を締結し、2020年3月5日にマイルストーン社 600,000 個、ストライダーズ社 550,000 個の本新株予約権を行使する旨を合意し、かかる本新株予約権の行使を実行いたしました。

以上